

# 「阿波ふうど情報」 (vol.39)

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファックス 088-624-8751

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/



## 「生産振興対策」情報

### ○美馬指導班会が、「(株)高畠精麦」を視察訪問しました。

県西部は米麦生産が盛んで、美馬市の麦栽培面積は県内の53%を占めています。またJA美馬では麦を使った「大麦若葉」の生産を推進していることから、県西部は麦生産の適地と言えます。

そこで、関係者で組織する美馬指導班会で「麦類の生産拡大」に取り組むため、実需者の(株)高畠精麦を訪問し大麦を使った加工品や大麦の消費動向、供給量などの説明を受けました。

今後、美馬指導班会では「麦の推進方針」を検討することになりました。



説明を聞く関係者

### ○加工業務用野菜「ザーサイ」の収穫が行われました。

とくしまブランド推進機構では、マーケットイン型産地づくりを進めています。

加工用野菜の「ザーサイ」については、平成28年度から鳴門藍住農業支援センター、JA板野郡、上板町の協力で栽培実証に取り組んでいます。

平成29年産「ザーサイ」は、定植遅れなどの影響も受けましたが収穫が行なわれたました。

#### 「ザーサイ栽培実証ほ」の概要

農家戸数：6戸 栽培面積：46a

定植時期：平成29年11月

収穫時期：平成30年3月

出荷量：235kg (前年出荷量800kg)

※定植遅れと、その後の低温により生育不良



栽培講習会(7月)



収穫前調査(3月)

#### ＜今後の対応＞

- ・気象災害に強いザーサイ栽培技術の確立と、商品化率向上のため栽培実証ほの継続設置
- ・ザーサイの栽培面積拡大に向け、地元関係機関(町・JA)の協力を得て栽培推進

○今後もマーケットイン型産地づくりの提案活動を行いますので、御協力をお願いします！

## ○スタッフ紹介

エリアマネジャー2名が転出しました。「お世話になりました。」

西條晋太郎エリアマネジャー<JA板野郡>、奥田雄哉エリアマネジャー<JA全農とくしま>

平成30年度は、新任エリアマネジャー2名が転入しました。「よろしく申し上げます。」



佐藤友紀(サトウ トモノリ)  
<JA全農とくしまから出向>



岡崎裕紀(オカザキ ユウキ)  
<JA徳島市から出向>

## 「とくしまブランド推進機構」

愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に

育まれた幸をもたらす」

ということを表現



阿波ふうど  
AWA FOOD

「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。